

しよく 続「京都 日本画新展」の概要

1 事業の趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に、広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。こうした日本画を志す、創造性あふれた若い人材の活動を奨励し、京都文化の発展に寄与することを目指し、新たな発表の場を創設する取り組みとして「京都 日本画新展」を5年にわたり開催してまいりました。同展は一定の成果を収めてきましたが、さらに伝統文化の裾野を広げることの重要性に鑑み、異なる視点を加えた「続(しよく)『京都 日本画新展』」として、2013年度から5年間の事業としてスタートしました。

2 主催者等

- 主 催 西日本旅客鉄道株式会社、京都新聞
- 後 援 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、KBS京都、エフエム京都

3 運営体制

(1) 推薦委員

- 大野 俊明 氏 (日本画家)
- 竹内 浩一 氏 (日本画家)
- 林 潤一 氏 (日本画家)
- 村田 茂樹 氏 (日本画家)

※出品作家の推薦は2017年3月下旬に行ないました。

(2) 審査委員

- 尾崎 正明 氏 (茨城県近代美術館長)
- 菊屋 吉生 氏 (山口大学教授)
- 島田 康寛 氏 (美術評論家)
- 野地 耕一郎 氏 (泉屋博古館分館長)
- 吉中 充代 氏 (京都市美術館学芸課課長補佐)

4 企画概要

(1) 参加概要

- 原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 25歳から45歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品を要請、今回は39名が出品。

＜参考＞「京都 日本画新展」出品作品数
第1回 37名、第2回 38名、第3回 37名、第4回 37名、第5回 38名)
続「京都 日本画新展」
第1回 39名、第2回 38名、第3回 38名、第4回 38名

- 出品依頼候補者の選出に当たっては、京滋の美術系大学を中心として、日本画の継承に尽力する現場教員などと情報交換の機会を得て、推薦対象を積極的に拡大。
- 大賞1点（表彰楯と賞金50万円）、優秀賞1～2点程度（表彰楯と賞金20万円）を選出。※出品者全員に奨励金として5万円支給。

(2) 作品の条件

テーマは自由。各1人1点のみとし、未発表作品に限る。

1点の大きさ 80号M（1455mm×894mm）以上

100号S（1620mm×1620mm）程度

※額縁は70mm以内とする

(3) 作品の発表

①美術館「えき」KYOTOでの作品展

【実施期間】2018年1月26日（金）～2月5日（月） 計11日間

- ・JR京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTOで作品展を開催。

※作品展には推薦委員にもご出品いただきます。

②ホテルグランヴィア京都での作品展

【実施期間】2018年2月7日（水）～4月12日（木）

- ・JR京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントロビー2階等で作品を展示。

※一定期間での展示替えを実施（推薦委員の作品は除く）

③JR西日本発行物での作品紹介

作品をJR西日本発行のパンフレットなどで紹介。

5 事務局

京都新聞COM事業局事業部 〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル
TEL:075(255)9758/FAX:075(255)9763（平日の午前9時30分-午後5時30分）
作品の画像を希望される方は、事務局にお問い合わせください。